

市勢伸展に

つくされた功勞をたたえ

名誉市民に 佐々木耕郎氏を推挙

第六回市議会定例会において、前日光市長佐々木耕郎氏が日光市名誉市民に推挙されました。

佐々木氏は七人目の名誉市民となられたもので、その推挙式が二月十一日に市役所大会議室で行なわれ、星野市長から名誉市民章と推挙状が佐々木氏に贈られました。

日光市名誉市民憲章ができたのは昭和三十三年で、現在まで六人の方が推挙されています。この名誉市民憲章は社会、文化の興隆につくされ、世の敬意を受ける者を日光市名誉市民と

して、その功績をたたえ、この趣旨にしたがって佐々木氏を推挙したものです。



一写真 上は星野市長から推挙状の授与。下は名誉市民章を胸に、今後も市のお役に立ちたいとあいさつされる佐々木氏

佐々木氏の事績と略歴

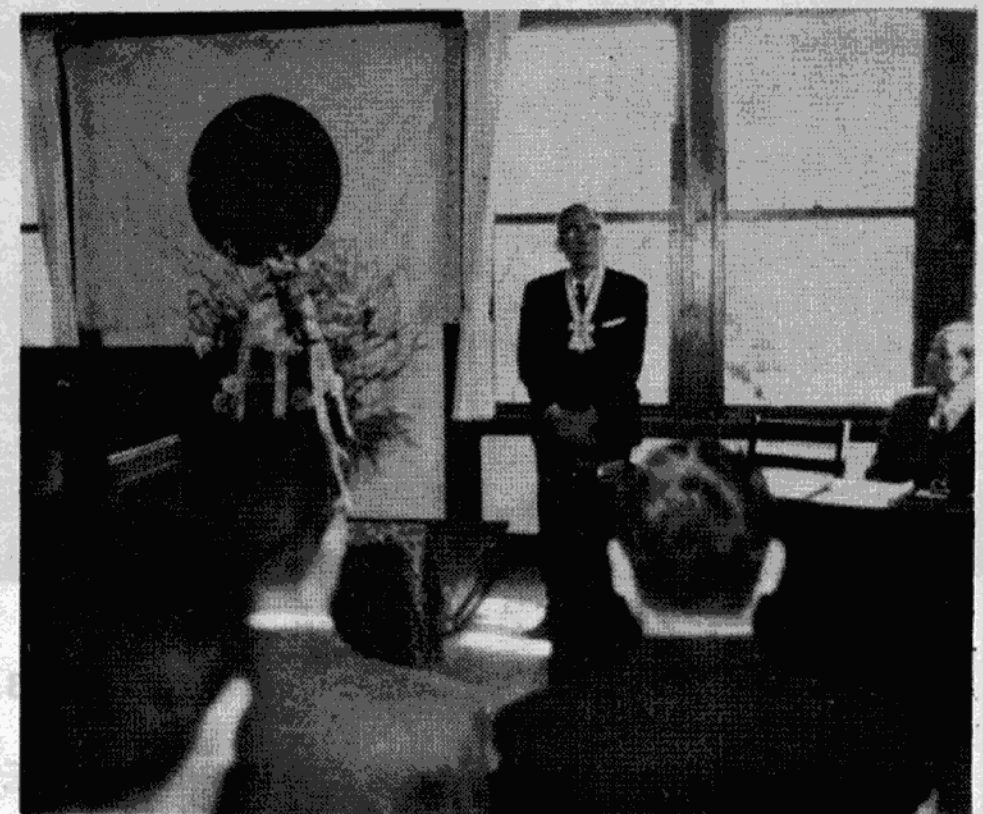
氏は明治二十八年八月二十一日、岩手県盛岡市夕顔瀬町に生まれ、大正六年三月旧制高千穂高等商業学校を卒業後、同年四月から昭和二十年八月まで古河電工に勤務、その間日光電気精銅所勤務部長を勤めました。

同社退社後十一月、株式会社別倉製材所、栃木金属株式会社株式会社親和会を設立、それぞれの社長に就任、市の産業振興に寄与されました。

昭和二十六年四月、栃木県議会議員に当選県政の発展に尽力

され、さらに昭和二十八年八月第十八代日光町長に当選し、昭和二十九年二月町村合併法による県下第一号の初代市長に就任四期十六年間にわたり市政を担当されたのです。

この間、市政の伸展に意を用い、市民生活の安定と産業基盤の整備、砂防、治山治水事業の発展、市有林等基本財産の育成などに最大の努力をされました。特に国際観光都市として、さらに発展のため、優れた創造力と統卒力により数多くの観光施設を残されました。



名誉市民章

市章を中心に陽光を形どった純銀製の名誉市民章



他面同氏は県スケート連盟会長、ボーイスカウト栃木県連盟長として青少年の育成と体育向上に尽力され、市政の発展のみならず、社会教育の向上に残された足跡は偉大なものです。